４－８　東京大学地震研究所鋸山観測坑における地殻変動連続観測

Continuous Observation of Crustal Deformation at Nokogiriyama

東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター
Earthquake Observation Center, ERI, Univ. of Tokyo

東京大学地震研究所鋸山地殻変動観測坑(NGY)では各種地殻変動観測を実施している．坑道総延長約 280m，かぶり深さ約 150mの坑道にスパン長約 40mの石英管伸縮計および 90 型水管傾斜計が設置され，連続観測が実施されている．1997 年 7 月から 2008 年 9 月までの期間，石英管伸縮計および 90 型水管傾斜計でえられた観測結果を図 1 に示す．図中，上段は伸縮計によりえられた歪三成分(南北方向，東西方向および北東・南西方向)および大気圧，中段は傾斜計二成分(南北面内，東西面内)，下段は降雨量である．歪および傾斜は 25 時間平均，大気圧は 24 時間平均処理をしており，降雨量は 24 時間雨量である．

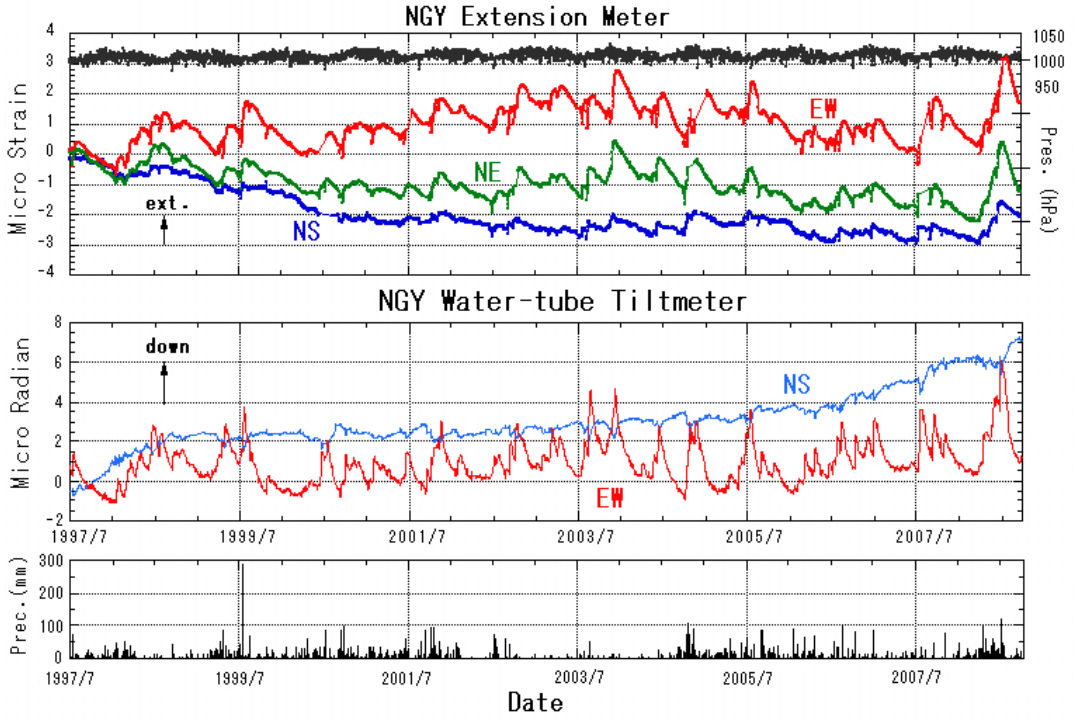

図１．石英管伸縮計によりえられた歪三成分(南北方向，東西方向および北東・南西方向)，大気圧変化(上段)，水管傾斜計によりえられた二成分(南北面内 N-down 正，東西面内 E-down 正)の傾斜変化(中段)，および 24 時間雨量(下段)．歪および傾斜は 25 時間平均，大気圧は 24 時間平均である．なお，2003 年 7 月の前後，ほぼ 1 年間の雨量が相対的に少ないが，雨量計の故障が頻発したためである．

Fig. 1. Temporal variation of strains and tilts (25 hours mean) at Nokogiriyama observation vault from July 1997 to September 2008.